



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月31日  
上場取引所 東

上場会社名 クオール株式会社  
 コード番号 3034 URL <http://www.qol-net.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 勝  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 福満 清伸 TEL 03-6430-9060  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	16,853	6.9	276	△61.3	285	△60.3	108	△66.6
24年3月期第1四半期	15,761	8.1	714	103.0	719	99.0	325	244.6

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 110百万円 (△65.9%) 24年3月期第1四半期 323百万円 (241.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	4.20	—
24年3月期第1四半期	13.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	32,081		11,989			37.4
24年3月期	32,582		12,750			39.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 11,989百万円 24年3月期 12,750百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	1,450.00	—	1,725.00	3,175.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		8.00	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成24年3月期期末配当金の内訳は、普通配当725円、記念配当1,000円であります。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,860	13.0	913	△36.1	869	△36.9	435	△32.6	16.83
通期	84,286	27.3	4,065	22.9	3,947	21.9	1,842	18.1	71.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期1Q	26,236,800株	24年3月期	26,236,800株
25年3月期1Q	744,500株	24年3月期	154,600株
25年3月期1Q	25,884,463株	24年3月期1Q	24,748,800株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 自己株式数には、従業員持株E S O P信託口の所有する当社株式を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

当四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、当四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は平成23年10月1日を効力発生日として株式1株につき2株の割合での株式分割及び平成24年4月1日を効力発生日として株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

なお、平成24年3月期の年間配当金については、株式分割前の実績を記載しております。

(その他特記事項)

決算補足説明資料は、適宜当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として厳しい状況にあるものの、東日本大震災からの復興需要等を背景として緩やかに回復しつつあります。しかし、今夏の電力供給問題による影響や欧州債務危機をめぐる不確実性が再び高まっており、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力である保険薬局業界におきましては、平成24年4月に調剤報酬・介護報酬の同時改定及び薬価改定が実施されました。主な施策として、地域社会を支える在宅医療の充実策や、引き続き後発医薬品の使用促進策に重点が置かれたことが特徴的となりました。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は、売上高16,853百万円（前年同期比6.9%増加）、営業利益276百万円（前年同期比61.3%減少）、経常利益285百万円（前年同期比60.3%減少）、四半期純利益108百万円（前年同期比66.6%減少）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① 保険薬局事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、薬価のマイナス改定による影響があったものの、長期処方への進行による薬剤料の収入増加が寄与し、既存店の売上は堅調に推移しました。保険薬局の出店状況につきましては、新規に1店舗を出店した一方、1店舗閉店した結果、当社グループ全体での店舗数は直営店321店舗、フランチャイズ店6店舗となりました。また、当期及び次期以降の当社グループにおける新規出店計画及び事業拡大に備え、新卒薬剤師を含めた計画的な人材確保、人材教育に努めております。この結果、売上高は前年同期比921百万円増加し16,290百万円（前年同期比6.0%増加）、営業利益は前年同期比419百万円減少し501百万円（前年同期比45.6%減少）となりました。

#### ② その他事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、主に治験関連事業、人材派遣・紹介事業において業績が好調に推移した結果、売上高は前年同期比169百万円増加し563百万円（前年同期比43.2%増加）、営業利益20百万円（前年同期の営業損失9百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、32,081百万円となり、前連結会計年度末から500百万円減少しております。

これは主に、商品及び製品が397百万円増加した一方、現金及び預金が265百万円、売掛金が597百万円減少し、流動資産合計で489百万円減少したことによるものであります。また、のれんの償却等により、無形固定資産が114百万円減少したことによるものであります。

#### ② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、20,092百万円となり、前連結会計年度末から260百万円増加しております。

これは主に、買掛金が702百万円及び短期借入金が510百万円増加した一方、未払法人税等が544百万円及び賞与引当金が365百万円減少したことによるものであります。

#### ③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、11,989百万円となり、前連結会計年度末から761百万円減少しております。

これは主に、配当金の支払いにより449百万円及び自己株式の取得等により422百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日付の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間業績予想及び通期連結業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### （税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,984	2,719
売掛金	9,671	9,073
商品及び製品	2,163	2,560
仕掛品	30	60
貯蔵品	99	95
繰延税金資産	592	598
その他	384	328
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	15,919	15,430
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,387	3,341
工具、器具及び備品（純額）	1,035	1,020
土地	1,172	1,172
その他（純額）	74	161
有形固定資産合計	5,669	5,695
無形固定資産		
のれん	7,064	6,985
ソフトウェア	735	862
その他	244	82
無形固定資産合計	8,045	7,930
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,957	2,006
繰延税金資産	276	298
その他	716	721
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	2,947	3,024
固定資産合計	16,662	16,651
資産合計	32,582	32,081

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,043	10,746
短期借入金	990	1,500
1年内返済予定の長期借入金	1,982	2,059
未払法人税等	703	158
賞与引当金	892	527
その他	1,488	1,470
流動負債合計	16,100	16,462
固定負債		
長期借入金	3,395	3,293
退職給付引当金	0	0
資産除去債務	288	291
その他	47	43
固定負債合計	3,731	3,629
負債合計	19,831	20,092
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,126	1,126
資本剰余金	7,139	7,140
利益剰余金	4,465	4,123
自己株式	△9	△432
株主資本合計	12,721	11,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	31
その他の包括利益累計額合計	29	31
純資産合計	12,750	11,989
負債純資産合計	32,582	32,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	15,761	16,853
売上原価	13,728	14,927
売上総利益	2,033	1,926
販売費及び一般管理費	1,318	1,649
営業利益	714	276
営業外収益		
家賃収入	3	2
受取手数料	9	10
負ののれん償却額	5	—
その他	9	12
営業外収益合計	28	26
営業外費用		
支払利息	13	12
持分法による投資損失	8	3
その他	0	0
営業外費用合計	22	16
経常利益	719	285
特別利益		
固定資産売却益	—	0
その他	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	22	27
災害による損失	21	—
その他	2	1
特別損失合計	46	28
税金等調整前四半期純利益	673	257
法人税等	348	149
少数株主損益調整前四半期純利益	325	108
四半期純利益	325	108



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	325	108
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△2	1
その他の包括利益合計	△2	1
四半期包括利益	323	110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	323	110
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第1四半期連結会計期間におきまして、「従業員持株E S O P信託」の信託契約に基づき自己株式の取得及び処分を行っており、取得による増加が426百万円、処分による減少が3百万円となりました。その結果、当第1四半期連結会計期間において自己株式が422百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末における自己株式は432百万円となっております。